

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1227号	氏名	吉田 佳世
論文審査担当者		主査教授	伊藤 敬
		副査教授	江口 勝美
		副査教授	由井 克之
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、リンパ球、マクロファージなどの免疫担当細胞に発現し、これらの細胞分化や機能発現において重要な役割を果たす IRF-4 の転写調節機構を解明することを目指しており、研究の目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>本研究ではリコンビナント GST-IRF-4 融合蛋白を作成し、selected and amplified binding site (SAAB) assay を行い、IRF-4 の至適 DNA 結合配列を決定し、さらに得られた配列を解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>本研究により、IRF-4 の至適 DNA 結合配列を 100 クローン決定し、得られた代表的な配列(SAAB1)と IRF-4 の <i>in vitro</i> における結合を証明した。さらに <i>in vivo</i> において IRF-1 標的遺伝子に対する IRF-4 の転写抑制効果を証明した。これらの結果により IRF-1 と IRF-4 は標的遺伝子に対して競合することにより遺伝子発現を調節していることを明らかにした。</p> <p>以上のように、本論文は IRF-4 と結合する DNA 配列を決定し、IRF-1 と IRF-4 による転写調節機構の一端を明らかにしたものであり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			